

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業 経常事務事業 建設事務事業

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連
 有
 無

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	緑地の保全事業							
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	都市計画課	係	公園緑地係	評価票作成者	公園緑地担当係長 朝岡正志
1-3 総合計画における施策の体系	節	生活環境 「安全・安心で、うるおいのあるまちづくり」			基本施策	緑化	コード	1 2 3
	項	水と緑の環境づくり			単位施策(中)	緑化推進及び緑地保全	コード	1 2 3 1
		水と緑の環境づくり			単位施策(小)	緑地の保全	コード	1 2 3 1 3
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	名木、古木の樹木所有者 市民緑地の提供者		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	民有地の名木、古木と認められる樹木のある樹林を保全して行く。 市街化区域内の市民緑地の契約を継続し緑地の保全に勤める。			
1-5 事務事業の内容	豊明市史の編集の際、民有地の名木、古木を抽出したものを保全して行く。 平成8年から整備した市民緑地を継続管理し、緑地の保全をする。							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	平成18年度	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み 見通しの出来るように下枝の剪定、伐採した取組みをしている。	社会状況等の事務事業がおかれる環境把握 市街化区域内は開発が進み樹木の伐採が目立っている。	市民ニーズの認識 防犯上、市民は、山林、樹林は出来る限り見通しが効くように剪定、伐採を望んでいる。
	平成19年度			
	平成20年度			
	平成21年度			
	平成22年度			
	平成23年度			
	平成24年度			
	平成25年度			
	平成26年度			
	平成27年度			

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名	前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	樹林地の保全箇所+市民緑地の箇所数(箇所)	10(箇所)	20(箇所)	名木・古木の保護指定、市街化区域内の緑地の確保のため名木・古木の保護指定、市民緑地を設置する。

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(箇所)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	3									
	人件費 c(千円)	786									
	合計コスト d(b+c)(千円)	402									
	単位コスト d/a(千円)	1,188									
		1箇所当たり396	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 直接事業費は3市民緑地の年間維持管理費。
人件費は、係内での通常業務の4割の5%

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2-4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(箇所)	3(箇所)									
	後期目標値に対する達成度(%)	15(%)									

3 事務事業の自己評価結果

3-1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		C									

- 4段階評価結果
- A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
 - B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 - C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
 - D : 事務事業の廃止が相当

- 判断の基準
- 必要性(必要な事務事業であるか)
 - 公共性(公が実施する意味があるか)
 - 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 - 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 - 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 - 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3-2 評価の内容		今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取組みの自己評価
		平成18年度	名木、古木の再調査を実施する必要がある。 市民緑地の再契約をできるように所有者と交渉していく。	緑地は保全できているが、緑地への来場が極めて少ないため、有効活用できるよう地元へ働きかける。
平成19年度				
平成20年度				
平成21年度				
平成22年度				
平成23年度				
平成24年度				
平成25年度				
平成26年度				
平成27年度				

4 事務事業の総合評価結果

4-1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度		C	市民緑地を有効活用ができるように事業の見直しをする必要がある。
平成19年度			
平成20年度			
平成21年度			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			